

委員
対議
災立
院足
参で

国として支援を

3・11伝承ロードなど

東日本大震災の発生から11年目を迎えた11日の参議院災



害対策特別委員会で質問に立った自民党の足立敏之参院議員は、3・11伝承ロードなど地域に根差した記憶の伝承活動に対する国の支援を訴えた。「素晴らしい取り組みだが、残念ながら首都圏などで知っている人は少ない。できるだけたくさんの方に訪れ

て、経験していただけるようにすることが大事だ」と主張した。写真。

二之湯智防災内閣府担当相は3・11伝承ロードの震災伝承施設の訪問時を振り返り、「現地の方から話を伺い、改めて震災伝承の大切さを実感した。指摘のとおり地域に根差した震災の記憶の伝承を支えられるよう、国と地元が連携して国民の防災意識の向上を図る」と応じた。また、足立議員は今冬の豪

雪問題についても質問し、国交省による地方自治体への支援状況を確認した。同省の村山一弥道路局長は、例年3月をめぐりに地域の降雪状況に応じて実施している予算の追加配分に加えて、ことはさらなる支援が必要であると判断したと説明。自治体に対する降雪状況や除雪費の執行状況などの調査結果を踏まえ、「できるだけ速やかに除雪費の支援を行う」ことを明らかにした。